

県内 観光関連事業者のみなさまへ

沖縄県文化観光スポーツ部

部長 渡久地 一浩

[公印省略]

(業務委託先: 株式会社海邦総研)

令和 2 年 沖縄県観光産業実態調査 第 3 四半期調査(7 月～9 月)へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

県内 観光関連事業者のみなさまには、日頃から県政へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

沖縄県では、平成 26 年度より継続して、沖縄県観光産業実態調査を実施してまいりました。

今年度も、引き続き、沖縄県の観光産業景況感、雇用情勢等の現状、観光関連事業者様における経営上の課題等を把握し、県のリーディング産業である観光産業の持続的発展を図るための施策立案に生かすことを目的に、継続した調査を実施してまいります。今回調査は、長期化している新型コロナウイルスによる観光関連事業者様への深刻な影響について把握し、その上で、今後の流行を抑えながら、ウィズコロナに適応した観光産業の早期回復を図っていくための対策・支援の在り方を検討するための重要な基礎資料となるものです。


つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

記

●返送期限: 令和 2 年 10 月 9 日(金)

●添付書類: 調査票(本票・A3 両面印刷)、返送用封筒

●回答方法: 調査回答方法は、2 種あります。いずれか、ご都合の良い方法をお選びください。

郵送での回答	インターネットでの回答
調査票(本票)をご記入後、返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。 切手は不要です。	以下 URL にアクセス、もしくは QR コードを読み取った上で、指定の Web アンケートフォームよりご回答ください。 URL : <a href="https://questant.jp/q/okinawa-kanko-survey3Q">https://questant.jp/q/okinawa-kanko-survey3Q</a> QR コード: 

※なお、本調査の結果については、沖縄県観光産業実態調査報告書としてとりまとめ、公表させていただきます。

※ご回答いただきました内容は、本調査以外の目的で使用することはありません。個別の回答が他の方に知られることはありません。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

○本アンケートに関するお問い合わせ先【業務受託企業】

株式会社海邦総研 事業支援部 担当 : 末吉、比嘉

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 2-9-12 TEL 098-869-8704 E-mail [kanko.survey@kaiho-ri.jp](mailto:kanko.survey@kaiho-ri.jp)

○事業全体など、アンケート以外のことに関するお問い合わせ先【業務委託元】

沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課 担当 : 杉浦 TEL 098-866-2763

問 1 運営されている事業所・店舗についてお伺いたします。

問 1-1 調査票をお送りしている事業所・店舗に関する情報をご記入ください。

事業所・店舗名	
---------	--

問 1-2 事業所・店舗を運営している会社の情報をご記入ください。

※事業所・店舗名と同様の場合は、同上にチェックを入れてください。

※個人で経営されている場合は、社名に代表者名をご記入ください。

社名 (個人経営の場合は、代表者名)		(同上 : <input type="checkbox"/> )
所在地		

問 1-3 ご回答いただいているご担当者の情報をご記入ください。

ご回答者	(所属)	(お名前)
	(TEL)	(e-mail)

問 1-4 事業所・店舗の事業内容\*をご回答ください。(1つだけ○)

※複数の事業内容がある場合は、売上のなかで最も大きな割合を占める事業内容を選択してください。ただし、「農業」「漁業」「製造業」「卸売業」を主な事業内容とする事業所・店舗の方は、これらの事業内容における売上を除き、ご回答ください。

1	宿泊サービス ホテル、民宿、民泊、ペンション・貸別荘、ドミトリー	5	文化サービス 動植物園、文化施設、博物館・美術館、資料館、会議場
	2		飲食サービス 飲食店(テイクアウトも含む)
3		小売 小売業(通販サイトは除く)	7
	4	スポーツ・娯楽サービス テーマパーク、体験プログラム、マリッジ、エコツーリズム、ゴルフ、エステ・スパ、レンタサイクル、リゾートウェディング	
9		いずれにも当てはまらない →大変失礼いたしました。回答を終了いただき、ご返送をお願いいたします。	

問 1-5 事業所・店舗を利用されるお客様の割合\*をお答えください。

※お客様の割合は、新型コロナウイルスが発生する以前の実績でお答えください。また、3つの区分の合計が100%となるよう、記載ください。お客様の利用がない場合は、0%と記入ください。

お客様の割合		
県民	国内観光客	海外観光客
%	%	%

本ページの回答にあたっては、売上高、営業利益、お客様の数、販売・仕入価格などを総合的に判断の上、経営者のみなさまが感じられている景況感について、お答えください。

問 2 事業所・店舗の景況感についてお伺いたします。

問 2-1 2020 年 7～9 月の全体的な景況感(結果)を、前年同期と比較して、ご回答ください。(1 つだけ○)

	2020 年 7～9 月(2019 年 7～9 月期比較)			
全体的な景況感(結果)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明

問 2-2 2020 年 7～9 月の各項目の結果を、前年同期と比較して、ご回答ください。(それぞれ 1 つだけ○)

	2020 年 7～9 月(2019 年 7～9 月期比較)			
売上高	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
営業利益	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
正社員の数	1.不足気味	2.適正	3.過剰気味	4.不明/無
非正規の社員の数	1.不足気味	2.適正	3.過剰気味	4.不明/無
商品・サービスの販売価格	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
お客様の数(県民)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明/取扱無
お客様の数(国内観光客)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明/取扱無
お客様の数(海外観光客)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明/取扱無
原材料等の仕入価格	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
生産・販売などの設備	1.不足	2.適正	3.過大	4.不明

問 2-3 2020 年 10～12 月の全体的な景況感(見通し)を、前年同期と比較してご回答ください。(1 つだけ○)

	2020 年 10～12 月(2019 年 10～12 月期比較)			
全体的な景況感(見通し)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明

問 2-4 2020 年 10～12 月の各項目の見通しを、前年同期と比較してご回答ください。(それぞれ 1 つだけ○)

	2020 年 10～12 月(2019 年 10～12 月期比較)			
売上高	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
営業利益	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
正社員の数	1.不足気味	2.適正	3.過剰気味	4.不明/無
非正規の社員の数	1.不足気味	2.適正	3.過剰気味	4.不明/無
商品・サービスの販売価格	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
お客様の数(県民)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明/取扱無
お客様の数(国内観光客)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明/取扱無
お客様の数(海外観光客)	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明/取扱無
原材料等の仕入価格	1.上昇	2.不変	3.下降	4.不明
生産・販売などの設備	1.不足	2.適正	3.過大	4.不明

問3 新型コロナウイルスによる経営への影響等について、お伺いいたします。

問3-1 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間(2020年4月16日～5月14日)と比較し、現在の経営状況は変化しましたか。(1つだけ○)

- |         |           |           |         |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1 良くなった | 2 変わらず、良い | 3 変わらず、悪い | 4 悪くなった |
|---------|-----------|-----------|---------|

問3-2 上記の経営状況の判断の理由について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

(問3-1で「1良くなった」「2変わらず、良い」と回答した方)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1 客数(県民)の増加による売上の増加                   |
| 2 客数(国内観光客)の増加による売上の増加                |
| 3 客数(海外観光客)の増加による売上の増加                |
| 4 風評被害等の解消による売上の増加                    |
| 5 催事、イベント等の再開による売上の増加                 |
| 6 事業運営に係る人件費、賃借料などの減少(雇用調整や、テナント料減免等) |
| 7 助成金・融資等活用による資金繰りの改善                 |
| 8 商品、サービスの提供に必要な原材料等の変更によるコストの減少      |
| 9 マスク・アルコールなど感染症対策コスト減少               |
| 10 その他( )                             |

(問3-1で「3変わらず、悪い」「4悪くなった」と回答した方)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 客数(県民)の減少による売上の減少             |
| 2 客数(国内観光客)の減少による売上の減少          |
| 3 客数(海外観光客)の減少による売上の減少          |
| 4 風評被害等による売上の減少                 |
| 5 催事、イベント等の中止による売上の減少           |
| 6 事業運営に係る人件費、賃借料などの支払い          |
| 7 資金繰りの悪化                       |
| 8 商品、サービスの提供に必要な原材料等の変更によるコスト増加 |
| 9 マスク・アルコールなど感染症対策コスト増加         |
| 10 その他( )                       |

問3-3 2020年7～9月の期間中、観光客は昨年の同時期と比較して、どのぐらい訪れていますか。(1つだけ○)

- |               |                |               |               |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 1 全く訪れていない    | 3 1%以上～10%未満   | 3 10%以上～30%未満 | 4 30%以上～50%未満 |
| 5 50%以上～80%未満 | 7 80%以上～100%未満 | 7 100%以上      | 8 分からない       |

問4 現在、新型コロナウイルスの流行を防ぎながら、ウィズコロナに適応した観光産業の回復を図るための段階的な取り組みが模索されています。今後、観光客の受入拡大を進めていくために、必要と考えられる沖縄県の対策・支援について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 マスク・消毒液等の確保、支給        | 11 教育旅行等、団体旅行の需要確保       |
| 2 感染者の受け入れ医療体制の拡充       | 12 文化芸術・スポーツイベントの取組支援    |
| 3 県内各空港での水際対策の強化        | 13 観光客の二次交通(レンタカー等)利用の整備 |
| 4 PCR検査実施体制の拡充          | 14 外国人旅行客の受入環境整備         |
| 5 抗原検査実施体制の拡充           | 15 ワークーションの促進            |
| 6 感染者発生時の対応マニュアルの整備支援   | 16 大規模な誘客プロモーションの実施      |
| 7 アプリ等による防疫・情報の開示       | 17 消費活動喚起策の実施            |
| 8 相談窓口(コールセンター等)の体制強化   | 18 観光客の量から質への転換          |
| 9 助成金/給付金の拡充、申請の簡素化・迅速化 | 19 その他( )                |
| 10 実質無利子・無担保の融資枠の拡大     | 20 特に対策・支援は必要ない          |

問5 観光推進のため、沖縄県に取り組んでほしい施策等、ご要望があればご記入ください。

--

回答へのご協力、ありがとうございました。返信用封筒(切手不要)に封入し10月9日(金)までにご投函ください。